

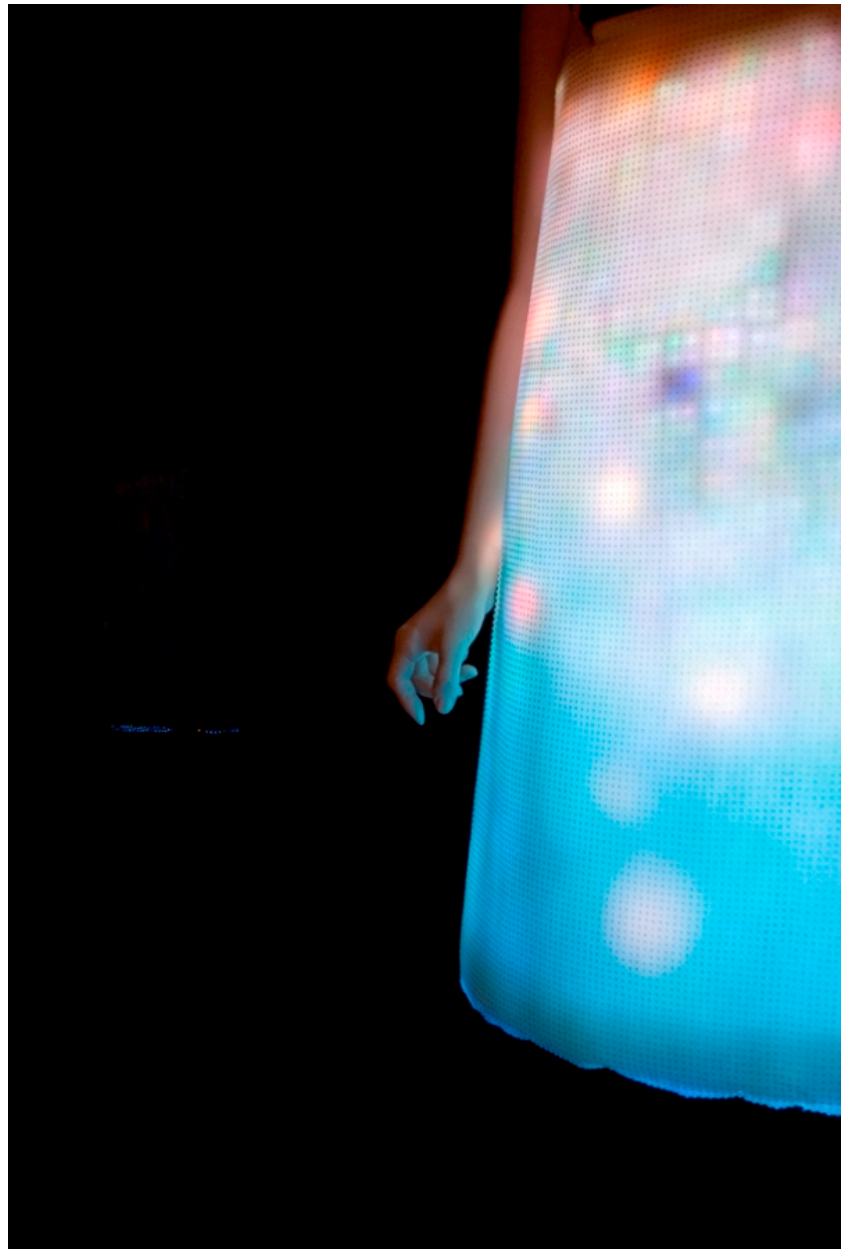
フセイン・チャラヤン

ファッションにはじまり、そしてファッションへ戻る旅

Hussein Chalayan

from fashion and back

2010年4月3日（土） - 6月20日（日）



展覧会概要

この度、東京都現代美術館では、キプロス島出身のファッション・デザイナーであり、アーティストでもある、フセイン・チャラヤンの日本での初個展を開催することになりました。

「僕はこのIN-BETWEENという場所が好きだ。」(『SPACE FOR YOUR FUTURE』展(東京都現代美術館、2007年)カタログより)

フセイン・チャラヤンは、1994年のデビュー以来、ファッションとアートの二つの領域を横断的に活動するクリエイターの先駆者として、大きな影響を与えてきました。

一つ一つのコレクションに込められる、現代社会に対する文明史観的な批評性や魅力的な物語性、LEDやレーザー光線など最先端のテクノロジーを駆使した革新的なデザインは、英国ファッション・アワードの「デザイナー・オブ・ザ・イヤー」を2年連続で受賞するなど、国際的に高く評価されています。アートの分野におきましても、映像作品やインスタレーションを精力的に制作し、2001年イスタンブール・ビエンナーレや2005年ヴェネツィア・ビエンナーレ(トルコ館にて個展を開催)などの国際展に参加。国内では2007年に東京で「スキン+ボーンズ」(国立新美術館)、「SPACE FOR YOUR FUTURE」(東京都現代美術館)で一部の作品が紹介され話題を集めました。

チャラヤンの表現は、従来のファッションという枠にはとどまらず、アート、建築、デザイン、哲学、人類学、科学といった複数の領域を横断して展開します。その根底にはあるのは、私たちを取り巻く環境への批評的眼差しであり、とりわけ、テクノロジーや移動、文化的環境によって、身体およびアイデンティティがどのように変容するのかを服を通して探究してきました。こうしたテーマは、南北に分裂したキプロスの国境地帯で生まれ育った彼にとって、きわめて現実的な問題だったといえます。また、グローバル化時代に生きるわたしたちが共有する今日的な問題ともいえるでしょう。分断されてしまった土地に住む恋人に、自分が着た紙のドレスに手紙を書き、送れるようにしたエアメール・ドレス、バーチャルとリアルな肉体の狭間でゆれる私たちのリアリティを反映した映像が移ろうLEDドレスなど、それは今日的な問題を反映しながらロマンティックな想像力の輝きに満ちています。

本展は、1994年から2009年までに発表されたファッション・コレクションに加え、映像作品やインスタレーションをあわせた約24点により、ジャンルを超えて展開してきた多面的な活動を本格的に紹介するものです。なお、本展覧会は、ロンドンのデザイン・ミュージアムからの巡回展を当館の空間に応じて再構成した「東京バージョン」となります。

◆15年間の足跡を概観

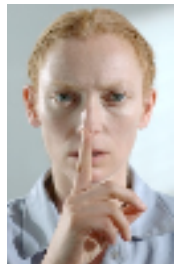
数ヶ月間土の中に埋めたシルクのドレスを掘り起こし、それを大学の卒業制作として発表し、一躍注目を浴びた初期の「埋められたドレス」。クリスタルと15,000個の明滅するLEDでできた純白のドレスや、200個以上の動くレーザー光線が組み込まれた服など最新のテクノロジーを駆使したもの、そして2009年の新作まで、この15年間の代表的なコレクションが一堂に介します。

◆動きのあるマネキンによるスペクタクルなインスタレーション

チャラヤンのコレクションは、そのひとつひとつに「遺伝子」「アイデンティティ」「移民」といったテーマが込められています。彼にとってファッション・ショーの場は、そうしたコンセプトを表現するパフォーマンスとして機能しています。そのため、本展覧会の展示は通常のファッションの展覧会とは異なり、すべてのマネキンに窓をふく、壁を塗るなどのジャスチャーが伴い、その結果、ひとつひとつのコレクションが物語性をはらみ、インスタレーションとして展開します。

◆映像作品を一挙大公開

『ナルニア国物語/第1章:ライオンと魔女』（2005年）や『フィクサー』（2007年）で有名な女優ティルダ・スウィントンが主人公を演じる《不在の存在》（2005年）や、未来のロンドンからイスタンブールへ旅をする《場から旅へ》（2003年）といった映像インスタレーションに加え、これまで発表してきた短編映像作品までもまとめて見ることのできる貴重な機会となります。



参考画像

Absent Presence, featuring Tilda Swinton, photo: Thierry Bal

作家略歴



Photo: Chris Moore

フセイン・チャラヤン Hussein CHALAYAN

1970年 ニコシア(キプロス島)生まれ、ロンドン在住
1993年 セントラル・セント・マーティンズ・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン
(ロンドン)卒業

主な個展

1996年 ウィンドウ・ギャラリー／プラハ
1998年 コレット／パリ
2003年 「無定形体」(アントワープ・ファッション美術館)
「束の間の瞑想」(ペルゴラ劇場／フィレンツェ、パレ・ド・トーキョー／パリ)
2004年 「場から旅路へ」(現代美術センター／ジュネーヴ)
2005年 「フセイン・チャラヤン」(フローニンゲン美術館／オランダ)
第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ(トルコ館／ヴェネツィア)
2009年 「フセイン・チャラヤン—ファッションにはじまり、そしてファッションへ戻る旅」
(デザイン・ミュージアム／ロンドン)

主なグループ展

1996年 「ジャム:スタイル+音楽+メディア」(バービカン・アートギャラリー／ロンドン)
1997年 「カッティング・エッジ」(ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館／ロンドン)
1998年 「今世紀を語る:100年間の美術とファッション」(ヘイワードギャラリー／ロンドン)
1999年 「身体の夢—ファッションOR見えないコルセット」(京都国立近代美術館、東京都現代美術館)
2000年 「美」(アヴィニオン)
2001年 第7回イスタンブール・ビエンナーレ
「ジャム:東京—ロンドン」(バービカン・アートギャラリー／ロンドン)
「センチュリー・シティ」(テート・モダン／ロンドン)
「ラディカル・ファッション」(ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館／ロンドン)
2003年 「女神:ザ・クラシカル・モード」(ニューヨーク近代美術館)
2004年 「21世紀の出会い—共鳴、ここから」(金沢21世紀美術館)
2006年 「スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション」(ロサンゼルス現代美術館、
国立新美術館／東京、2007年)
2007年 「SPACE FOR YOUR FUTURE—アートとデザインの遺伝子を組み替える」(東京都現代美術館)

広報用画像

本展広報用として、下記7点の図版がございます。

掲載ご希望の方は別紙FAXシートにてご希望の図版番号をお知らせください。



① 《慣性》2009年春夏 photo: Chris Moore



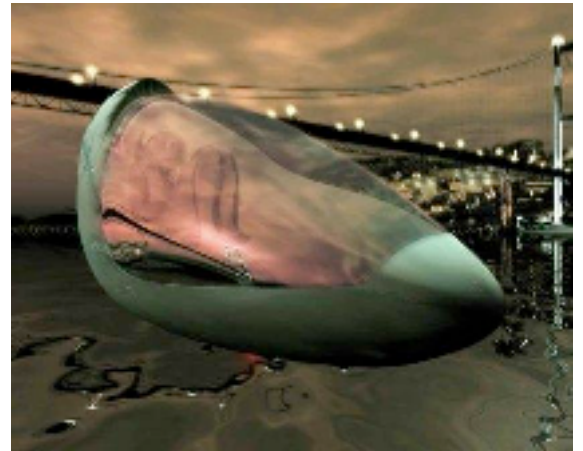
② 《アフター・ワーズ》2000年秋冬 photo: Chris Moore



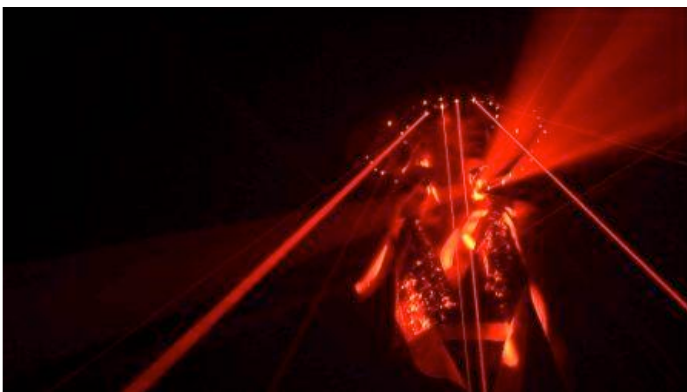
③ 《111》2007年春夏 photo: Chris Moore



④ 《エアボーン》2007年秋冬
インスタレーション風景 (デザイン・ミュージアム、ロンドン)
photo: Luke Hayes



⑤ 《場から旅路へ》2003年 映像作品
© hussein chalayan / neutral 2003



⑥ 《リーディングス》2008年春夏 photo: Nick Knight



⑦ 《明白なる運命》2003年春夏
インスタレーション風景 (デザイン・ミュージアム、ロンドン) photo: Luke

展覧会情報

タイトル	フセイン・チャラヤン ファッションにはじまり、そしてファッションへ戻る旅 Hussein Chalayan- from fashion and back
会期	2010年4月3日(土)ー6月20日(日)(68日間)
休館日	月曜日(ただし5/3は開館、5/6は休館)
開館時間	10:00ー18:00(入場は閉館の30分前まで)
会場	東京都現代美術館 企画展示室 B2F 一般1,200円(960円)/ 大学生・専門学校生900円(720円)/ 中高生600円(480円)
観覧料	65歳以上800円(640円) 小学生以下は無料 *()内は20名以上の団体料金 * 本展チケットで同時開催の「MOTコレクション」展もご覧になれます。
主催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
助成	ブリティッシュ・カウンシル
協力	KLMオランダ航空
後援	トルコ共和国大使館
企画	デザイン・ミュージアム(イギリス)

A touring exhibition from the Design Museum, London. 

お問合せ 東京都現代美術館(〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1)
Tel 03-5245-4111(代表) 03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.mot-art-museum.jp>

交通アクセス 東京メトロ半蔵門線・清澄白河駅B2番出口より徒歩9分
都営地下鉄大江戸線・清澄白河駅A3番出口より徒歩13分

関連プログラム 「アーティスト・トーク」
フセイン・チャラヤンが自身のこれまでの活動を振り返ります。
* 日英の逐次通訳有り
日時: 4月3日(土) 15時～
会場: 地下2階講堂
定員: 200名(先着順)
参加費: 無料(ただし要展覧会チケット)
* その他の関連プログラムは決定し次第美術館ホームページでご案内します。

展覧会スタッフ チーフキュレーター 長谷川祐子/ 担当学芸員 吉崎和彦

広報お問合せ先:

東京都現代美術館 事業企画課企画係 広報班
野口 玲子 r-noguchi@mot-art.jp 吉川 睦 m-yoshikawa@mot-art.jp
Tel 03-5245-1134(広報直通) Fax 03-5245-1141

フセイン・チャラヤン - ファッションにはじまり、そしてファッションへ戻る旅

広報用画像申込書

東京都現代美術館 事業企画課企画係 広報班宛

FAX. 03-5245-1141

本展覧会広報用素材として、作品画像7点をご用意しております。ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はEメールにてお申込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

① キャプションは、作家名、作品名、制作年、撮影者等を必ず表記ください。

② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。

本展記事を紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為の校正、掲載誌(紙)、DVD、CD等をお送りください。

また読者様・視聴者様へのプレゼント用招待券もご手配可能ですので、ご希望の場合はお申し付けください。

媒体名:

.....

○印をおつけください」

種別: TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日:

御社名:

.....

ご担当者名:

.....

Eメールアドレス:

.....

@

(〒 -)

ご住所:

.....

お電話番号:

.....

FAX:

.....

図版番号: ご希望の図版番号に ✓ をおつけください。

- 1. 《慣性》2009年春夏、photo: Chris Moore
- 2. 《アフター・ワーズ》2000年秋冬、photo: Chris Moore
- 3. 《111》2007年春夏、photo: Chris Moore
- 4. 《エアボーン》2007年秋冬、インスタレーション風景(デザイン・ミュージアム、ロンドン)、photo: Luke Hayes
- 5. 《場から旅路へ》2003年、映像作品 © hussein chalayan / neutral 2003
- 6. 《リーディングス》2008年春夏、photo: Nick Knight
- 7. 《明白なる運命》2003年春夏、インスタレーション風景(デザイン・ミュージアム、ロンドン)、photo: Luke Hayes

プレゼント用招待券をご希望の場合は ✓ をおつけください。

5組10名様 / 10組20名様

広報お問い合わせ先:

東京都現代美術館 事業企画課企画係 広報班

野口 r-noguchi@mot-art.jp 吉川 m-yoshikawa@mot-art.jp /

江東区三好4-1-1 TEL.03-5245-1134(直通) / FAX.03-5245-1141